

2022年鳥取大学附属学校部スクールカウンセラー活動実績

石本志穂

はじめに

著者は、2016年4月から、鳥取大学附属学校部（以下附属学校部）にてスクールカウンセラー（以下SC）として活動している。附属学校部のニーズの増加によって、2021年4月より1名、2022年4月よりさらに1名スクールカウンセラーを増員し、2022年4月よりスクールカウンセラー3名体制となった。

鳥取大学附属小学校（以下附属小学校）での活動が週3時間、鳥取大学附属特別支援学校（以下附属特別支援学校）での活動が隔週2時間、鳥取大学附属中学校（以下附属中学校）での活動が1名が週4時間、1名が隔週3時間となっている。主に附属小学校と附属特別支援学校での活動を著者が、附属中学校での活動を他2名が担当している。また、各学校からの要請によって、それ以外の時間も活動することとなっている。

本稿では、2022年（2022年1月～12月）にSCが行った活動をまとめることとする。

1. スクールカウンセラー活動実績

（1）鳥取大学附属幼稚園（以下附属幼稚園）での活動実績

2022年は附属幼稚園より1件依頼があり、在籍児の観察と職員とのコンサルテーションを行った。

（2）附属小学校での活動実績

表1 附属小学校での相談のべ件数

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
本人	2	3	3	0	6	4	3	0	2	3	2	2	30
保護者	1	2	1	2	3	1	4	0	2	2	2	0	20
月合計	3	5	4	2	9	5	7	0	4	5	4	2	50

附属小学校での相談件数の集計を行った結果、表1に示すように、2022年は50件であった。2021年の相談件数は33件であり、相談件数は増えている。

また、その他の業務として、児童観察、定期的にかれる校内支援委員会への参加、小学校1年生保護者への研修会、教職員への研修会、他機関との連携支援委員会への参加を行った。

教職員が限られている中で、アセスメントシートの活用と定期的な支援員会の実施等によって、児童への支援を考え、教職員で共有、引継ぎしていくことに努めている。また、鳥取大学LD等専門員の研修生による児童の個別支援の実施について検討を行っている。

(3) 附属中学校での活動実績

表2 附属中学校での相談のべ件数

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
生徒	2	9	7	2	13	4	2	0	12	11	11	8	81
保護者	3	0	0	3	8	5	5	0	2	4	3	3	36
月合計	5	9	7	5	21	9	7	0	14	15	14	11	117

附属中学校での相談件数の集計を行った結果、表2に示すように、2022年は117件であった。2021年の相談件数は81件であり、相談件数は増えている。また、定期的に開かれる支援委員会に参加した。

今年度よりSC通信を発行し、SCの活動や心理的健康についての知識の周知に努めている。

(4) 附属小学校と附属中学校との連携

今年度はSC3名と附属小学校養護教諭、附属中学校養護教諭の5名で、各校種の教育相談の現状と展望について話し合った。教育相談において活用できる知見を、SCから教職員へ周知することや、小学校から中学校に進学する児童についての連携を行うこと、特に附属小学部高学年以降の児童や附属中学校の生徒に対する心理教育の実施などについて、検討を行った。

(5) 附属特別支援学校での活動実績

表3 附属特別支援学校での相談のべ件数

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
小学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中学部	1	1	3	0	2	0	1	0	1	1	1	2	13
高等部	1	3	1	1	0	0	2	0	2	1	2	2	15
高等部専攻科	1	0	1	0	2	3	1	0	1	0	3	0	12
月合計	3	4	5	1	4	3	4	0	4	2	6	4	40

附属特別支援学校での相談件数の集計を行った結果、表3に示すように、2022年は40件であった。2021年の相談件数は33件であり、相談件数は増えている。その他の活動として、教員とのコンサルテーション、他機関との連携支援委員会への参加、高等部生徒に対してのカウンセリングのオリエンテーション、保護者研修会、校内支援委員会への参加を行った。

石本志穂（鳥取大学附属学校部スクールカウンセラー）